

財務諸表に対する注記

1 重要な会計方針

- (1) 引当金の計上基準  
退職給付引当金は職員の期末自己都合要支給額の100%を計上している。
- (2) 消費税の会計処理は税込処理を採用している。

2 基本財産及び特定資産の増減額及びその残高

基本財産及び特定資産の増減額及びその残高は、次のとおりである。

(単位：円)

科 目	前期末残高	当期増加額	当期減少額	当期末残高
基本財産				
有価証券	3,548,935		3,548,935	
普通預金	1,628			1,628
定期預金		3,550,000		3,550,000
小 計	3,550,563	3,550,000	3,548,935	3,551,628
特定資産				
退職給付引当資産	1,066,644			1,066,644
研修会館建設積立資産	89,086,215	289,564		89,375,779
小 計	90,152,859	289,564		90,442,423
合 計	93,703,422	3,839,564	3,548,935	93,994,051

3 基本財産及び特定資産の財源等の内訳

基本財産及び特定資産の財源等の内訳は、次のとおりである。

(単位：円)

科 目	当期末残高	(うち指定正味財産からの充当額)	(うち一般正味財産からの充当額)	(うち負債に対応する額)
基本財産				
定期預金	3,550,000	( )	( 3,550,000)	( )
普通預金	1,628	( )	( 1,628)	( )
小 計	3,551,628	( )	( 3,551,628)	( )
特定資産				
退職給付引当資産	1,066,644	( )	( )	( 1,066,644)
研修会館建設積立資産	89,375,779	( )	( 89,375,779)	( )
小 計	90,442,423	( )	( 89,375,779)	( 1,066,644)
合 計	93,994,051	( )	( 92,927,407)	( 1,066,644)